

雨からの学び

聖園女学院中学校

一年 小野澤 彩夏

みなさんも幼いころ、ふと思ったことがあるでしょうか。「雨って、飲めるのかな。」

私は、小学生低学年のころ、雨が降るたびに毎回同じようなことを思っていました。

「雨って、飲めるのかな。」と友達に聞いてみると、「飲めるんじゃない。」と毎回同じ答えが返ってきました。また、雨が降っている時は毎回びしょびしょにぬれて帰りたいと思っていましたが、今はぬれたいと思いません。雨が降ると普段の生活に手間をかけることになるので多くの人は不快であると感じていると思います。しかし雨は私達人間にとって、必要不可欠な存在です。なぜなら水は私達の生命になくってはならない存在だからです。

小学生の頃に理科の授業で学習したことで、水は私達が思っている以上に汚染されていますが、森林土壌の働きにより水がきれいになり、そのおかげで私達はおいしいご飯や飲み物を得ることができています。今回は、そのことについて調べてみました。最初に、雨は工場や車などから出る色々なものが含まれているため汚染されています。しかし、森林土壌はこのような汚染物質を取り除き水質を浄化する働きがあります。森林の土壌はたくさんの細かい粒を含んでおり、その粒はマイナスの電気を持っています。一方、雨水に溶けこんでいる汚染物質の多くは、プラスの電気を持っています。汚染された雨水が森林の土壌を通るとき、マイナスの電気を持つ土の粒にプラスの電気を持つ汚染物質が引きつけられて取り除かれるため、雨水がきれいになるのです。この時リンや窒素などの富栄養化の原因となる物質は、土壌中のミネラル成分などがバランス良く溶け出すことにより、森林はおいしい水を作り出します。しかし森林土壌の機能が雨水をきれいにする働きには限界があり、これを越えた汚染物質が入ってくるとそれ以上水質浄化をすることが出来ません。そのため汚染物質を出さないようにする努

力が大切です。

浄化された雨水は川に流れダムや田んぼなどにめぐり私達生活と切りはなすことのできない大事なものです。雨水を浄化する森林の持つ機能、緑のダムの役割を最大限に利用していくためには、限界を越えないようにすること、また自然を守るという意識を持って生活をしていくことを忘れてはいけません。

最後に、私たち人類は神様から自然環境に関して課題を出されているのかもしれない。そして今この問題を見過ごしてしまったら取り返しつかないことになるのではないかと思えます。そのような状況にならないように、私は今、できる限りのことをしたいです。